ホテルの安心と、ゲストの笑顔のために。

現場ログ®
GENBA LOG
ホテル版

ホテルの現場を、
もっとシンプルに、もっと快適に。

客室・共用部・設備の記録と対応を、ひとつに。

株式会社海岸線

現場の声から、よりよい現場へ。



ホテルの客室補修を、早く・分かりやすく・確実に

現場ログ ホテル版 ― ホテルの設備・修繕・日常管理を支援するシステム ―

より快適なホテル体験のために

Keeping Better Stays

1 見つける

客室・共用部・バックヤードで不具合を発見

照明切れ / 水漏れ / 壁の傷 / 備品不具合

こんな人が見つけます

清掃スタッフ / フロント / 巡回担当

2 すぐ登録

スマホで簡単に不具合を登録



場所を選ぶ（客室／共用部／バックヤード）

写真を撮る

内容を入力する

未対応

状態は自動的に「未対応」で登録

説明書なしでも使いやすいシンプル操作

3 対応を共有

一覧で状況を確認し、関係者で共有



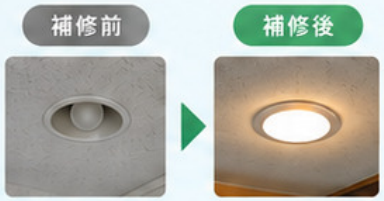
検索 キーワードで検索 / 絞り込み 場所・状態・担当者など / 並び替え 更新日・優先度など / 共有 QRで共有 関係者へ共有しやすい

支配人 / 清掃責任者 / 設備担当 / 外部修繕会社

関係者で同じ情報を共有

4 履歴を残す

作業の記録を残し、後からも確認



作業記録を追記

写真を追加

対応履歴を保存

完了後も過去履歴をすぐ確認

このシステムを使うメリット

現場の「困った」を「よかった」に。

対応漏れを防ぐ
部屋ごとの不具合を一覧で見える化

進捗が分かる
未対応・対応中・完了が一目で分かる

引き継ぎしやすい
写真と記録が残るので、担当者が変わっても安心

このシステムでできること

- 場所ごとの不具合登録
- 写真付き記録
- 状態管理
- 検索・一覧確認
- 補修履歴の保存

快適な客室をこれからも



ホテルの安心と、ゲストの笑顔のために。

Better Rooms, Brighter Tomorrow.

導入・展開イメージ

すべてのホテルに
より快適な滞在を



まず1ホテルから始めて、段階的に全ホテルへ展開できます

STEP 1 1ホテルで試行

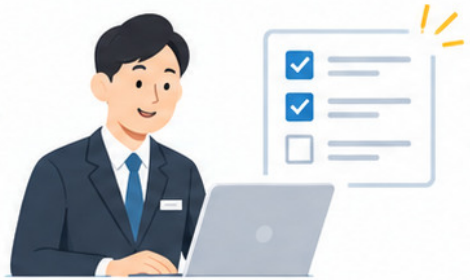
客室・共用部・設備で運用



- 現場の使い方を確認
- 運用ルールを整える
- まずは1施設で無理なく開始

STEP 2 運用を確認・調整

現場のフィードバックを反映



- 項目や使い方を調整
- 実際の運用に合わせて改善
- スムーズな定着を目指す

STEP 3 他ホテルへ展開

複数ホテルに順次展開



- ホテルごとの運用に合わせて設定
- 同じ仕組みで簡単に開始
- A館・B館・C館へ横展開

STEP 4 本部から横断管理

全ホテルの案件・履歴を一元確認



- 全体の運用状況を把握
- 案件・履歴をまとめて確認
- 継続的な改善に活用

ポイント： 1ホテルから始められるので、スモールスタートで無理なく導入し、確実に全ホテルへ展開できます

ホテルの安心と、ゲストの笑顔のために。

ホテルの現場で、本当に使われる仕組みを。

海岸線だからできること

1 誰が使っても、迷わない。

株式会社海岸線は、説明書を読まなくても、誰が使っても迷わない
システムづくりを大切にしています。
複雑な機能を増やすのではなく、必要な情報を、必要な人が、すぐ確認・
記録できること。
ホテルの現場で毎日使い続けられることを前提に、シンプルで分かりやすい
仕組みを設計しています。

2 ホテル・施設領域での実績

- シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート（シーガイア）
- 客室清掃管理システム
- ルームサービスシステム
- 混雑状況可視化システム

3 現場ログ ホテル版へ

これまで培ってきた「現場で迷わせない」「運用を複雑にしない」という
考え方を、客室・共用部・設備などの記録・対応管理へ展開しています。

必要な機能だけを、現場に合わせて。



フェニックス・シーガイア・リゾート | 宮崎県



ホテル版現場ログ：外部業者を使う場合の考え方

「ホテルの場所管理」と「協力会社管理」を分けて、案件ごとに結びつける

より快適な
ホテル体験のために

HOTEL
Keeping
Better Stays

① 場所の管理

ホテルの構造に合わせて、場所を管理

- 管理会社
- ホテル
- フロア / 区分
- 客室・共用部・設備

場所情報を紐づける

② 案件でつなぐ

場所の不具合を「案件」として管理し、
協力会社を紐づける

案件 No.1234

ホテル	：	ホテルA
場所	：	501号室
内容	：	エアコン不具合
依頼先	：	△△設備（協力会社）
状態	：	対応中
写真	：	
作業内容	：	作業内容 / 作業日時 / 担当者

協力会社情報を紐づける

③ 協力会社の管理

協力会社ごとにアカウントを発行し、
自社に割り当てられた案件のみ利用

- △△設備
- ○○電気
- □□清掃
- その他の協力会社

運用の流れ（例）

1. ホテル側が
   案件を作成
   （場所・内容・依頼先を設定）
2. 協力会社が
   写真・作業報告を登録
   （スマートフォンで簡単に入力）
3. ホテル側が内容を確認
   （進捗や対応状況を共有）

ポイント　「ホテルの場所管理」と「協力会社管理」を分けて運用することで、案件ごとに依頼先を割り当て、シンプルに管理できます

ホテル版現場ログ：権限の考え方

管理会社・ホテル・協力会社で、見える範囲とできることを分ける

① 管理会社

見える範囲

- 全ホテル
- 全フロア・客室・共用部
- 全案件
- 全協力会社

できること

- ホテル情報の管理
- 協力会社の管理
- 案件全体の確認

※ 全体を横断して確認できる

② 各ホテル担当者

見える範囲

- 自ホテルのみ
- 自ホテル内のフロア・客室・共用部
- 自ホテルの案件
- 関係する協力会社

できること

- 案件作成
- 写真・報告の確認
- 対応内容の確認
- ホテル内の進捗確認

※ 他ホテルの情報は見えない

③ 協力会社（外部業者）

見える範囲

- 自社に割り当てられた案件のみ
- 対象の場所情報
- 必要な作業情報

できること

- 作業前後写真の登録
- 作業報告の登録
- 作業内容・作業日時の入力

※ 他社案件や他ホテル全体は見えない

情報の見え方

- 管理会社：全て見える
- ホテル担当者：自ホテルのみ見える
- 協力会社：割り当て案件のみ見える
- 見えない範囲（アクセス不可）



ポイント：場所管理と業者管理を分け、役割ごとに見える範囲を制御すると、運用しやすく安全